

2022年9月発行  
社会福祉法人 ありのまま舎  
(障害者自立企画)

発行責任者 白江 浩  
編集 佐藤 環

〒982-8544  
仙台市太白区西多賀4丁目19-1  
TEL022(243)1300

<http://www.arinomama.or.jp>  
E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp



太白ありのまま舎屋上から

### 打ち上げ花火に鎮魂の思いを込めて

難病ホスピスケア太白ありのまま舎が所属する茂庭台町内会で3年ぶりに夏祭りが開催されました。夏祭りの中では、亡くなった筋ジス患者等の仲間への弔いの意味と、鎮魂の思いを途切れさせないために太白ありのまま舎が企画し今回も打ち上げ花火を行いました。

国立療養所西多賀病院(仙台市太白区)に入院していた仲間たちが七ヶ浜の海辺で「ハレ晴れ村キャンプ」を行った時に花火を行ったのがきっかけで、当時ご協力下さった芳賀火工様が現在もご支援下さっています。

当日は天候に恵まれ、夏祭りのフィナーレとして地域の皆様に見ていただくことができ、太白ありのまま舎入居者の方も感染症対策をとりながら屋上から花火を楽しむことができました。

7月に入り新型コロナウイルス感染者が急拡大したため、当舎で出店予定だったお店は残念ながら休止とさせていただきます。また物価高騰は花火にも影響し、例年より数が少ない打ち上げになりましたが、まだ制限のある中でも少しだけでも楽しめる一時となったのだと思います。ご協力頂いた皆様に感謝したいと思います。ありがとうございます。

【花火協賛金を頂いた皆様】(敬称略)  
福来苑・つのだ歯科医院・ヤマザワ茂庭店・セブンイレブン茂庭台店・茂庭台地区一丁目町内会・茂庭台わかば町内会・ないとうクリニックス複合サービスセンター

### 薫る風

東日本大震災前から、EPAによる外国人の受け入れを申し込んできた。当時は受入のルートが限られていて、専門性を持った人材確保を求めるなら、EPAが最適だった。毎年候補者の写真入りの経歴書が送られてきて、必ず数名申し込みをした。しかし、東北での仕事を希望する人は少なく、更に高齢介護ではない障害者介護を希望する人は、極めて貴重だった。申し込んでも希望者を得ることはできなかった。今年、留学生の将来の就職先と言う前提で、学生を受け入れることができ、四か月が過ぎた。思い起こせば、当初は母国の大学等で専門性を身に着けた人材を得ることで、施設の活性化を図ることが目的だった。それが国内の人手不足を補う人材確保になっていた。5月に受け入れるまで確かにそうだった。しかし、実際受け入れてみて、毎日真剣に、施設の仕事と勉学を両立させている姿を見ると、人柄と共に仕事に対する向き合い方に学ぶことばかりだった。ベトナムの農村部で育ったおふたりのうちひとりはお産師の資格があり、一時助産師をしていたという。日本の介護を学びたいという思いと、経済的な理由から、日本語を学び(留学)、介護資格を取得し、日本の介護現場への就職を目指し来日した。一方で日本語は言うまでもなく英語も通じない中で、いかにして理念や方針、ありのまま舎が目指すものを伝えられるか、私たちの力量が問われることになった。五人のチームとそれをバックアップする体制を整え、日々の総括、毎月の話し合いを重ね、書き綴った日誌は二冊目に入った。日本語の読む、書く、聞く、話すのいずれも目を見張る進歩を感じた。いかに真剣に向き合っているか伝わってきた。心の機微も記されるようになった。その姿をいつか家族にも見て頂きたいと思う。

(白江浩)

ありのまま舎創設者

山田富也さんを想う・9月21日命日を迎えて

ひと息

ほんの少しの物を食べ  
ほんの少しの水を飲み  
ほんの少しの夢を見て  
ほんの少しの明日を見る

ゆつくり雲が流れ  
ゆつくり風下そよぎ  
ゆつくり空気が流れる  
ゆつくりやうと息をする

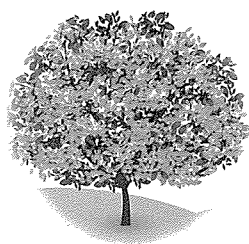
毎日痩せていき  
毎日骨が変形し  
毎日どこかが痛み  
視線の先の天井に  
毎日ひと時夢を見る

一口食べて緑に溶け込み  
一口飲んで部屋に溶け込み

一つの夢がほんのわずかな  
少しの明日を支えにする

心の中で  
大きな声で自身を叫ぶ

(2008年8月号)



自己決定と自己責任

(1976年11月号会報掲載)

ありのまま舎の理事・評議員の改選の時期になった。今回で第六期になる。

任期が二年だから、まる十年を終えたことになる。法人になったありのまま舎の区切りにもあたるのがこの月である。

私がまだ若く今と比べれば何倍も元気だった頃、今は亡き大坂誠先生は兄たちと始めた小さな任意団体のありのまま舎のことを思い出す。

「難病患者」ということで一ためにされた病院での、入院患者同様の管理されていた当時の生活への反発が、今にして思えばこの活動を続けてきた大きなバネになっているのだろう。

関わるスタッフが、すべてボランティアだった頃、そして、今月は給料が出せるだろうかという思いを常に抱えながら、活動していた時。そのすべては、今のありのまま舎の土台となった大切な時に間違いはない。

私の部屋の窓から、風に吹かれて揺れ、葉を散らしていく桜の木が見える。一雨ごとに寒さが身にしみてくる。

朝、カーテンを開けるたびに減るその木葉に、季節が変わるたびに一人、また一人と若くし

て去っていった仲間たちの顔が重なる。

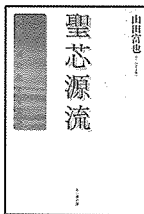
生命を与えられ、この世に生きる者の、生命の重さは皆同じはずである。身体に障害を持っていないから、障害を持っていないから、とそのことが理由になって差別されるのはもつてのほかである。

ありのまま舎の基本は、自己決定と自己責任。生命の大切さ、尊厳を決してお座なりにすることなく活動を続けていきたいものだ。

「聖芯源流」は、会報「自立」92号(1992年7月)から掲載が始まった山田専務理事のコラムです。2010年9月号の原稿を書き終え、同9月21日に亡くなるまで223編を書き記しました。

山田専務は寝たきりの状態になってもベッド上から活動の中心を担い、思いを伝え続けました。「自己決定と自己責任」。障害の有無に関わらず、個々の意思が尊重される社会を目指す原点は今も変わることはありません。

◆「聖芯源流」販売中  
コラムを抜粋して一冊の本になりました。1,980円(税込)



レンタカー・カーリースのご用命は

トヨタレンタリース宮城

本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100  
法人営業部 / 仙台市宮城野区日の出町 2-3-7 電話 022-782-0022

|           |                |           |                |                 |                |         |                |              |              |
|-----------|----------------|-----------|----------------|-----------------|----------------|---------|----------------|--------------|--------------|
| 本 町       | 店 022-224-0100 | 卸         | 町              | 店 022-237-0100  | 仙 台            | 空 港     | 店 0223-22-0100 | 新幹線くりこま高原駅前店 | 0228-21-2100 |
| 交 通 局 前   | 店 022-221-0100 | 高 砂       | 店 022-254-0100 | 柴 田             | 店 0224-57-0100 | 石 巻 駅 前 | 店 0225-21-7007 |              |              |
| 仙 台 駅 西 口 | 店 022-213-0100 | 鹿 野 2 8 6 | 店 022-246-0100 | 新 幹 線 白 石 蔵 王 駅 | 店 0224-22-0252 | 石 巻     | 店 0225-22-0100 |              |              |
| 仙 台 駅 東 口 | 店 022-293-0100 | 泉 中 央 駅 前 | 店 022-372-0100 | 新 幹 線 古 川 駅 前   | 店 0229-23-0100 | 気 仙 沼   | 店 0226-22-0100 |              |              |

新型ヴォクシー(車いす仕様・電動スロープ車)  
その他ウェルキャブもラインナップしております。

西多賀エリア

【サポーターケア仙台ありのまま舎  
(難病・障害者相談支援センター)】

近年、地震や風水害、台風など様々な災害が頻繁に起こっています。私自身、テレビで天気予報や避難情報、河川の状態を見ながら、心配な夜を過ごすことが多くなつたと感じています。避難方法を見直す方も多くなつたのではないのでしょうか。

人工呼吸器や経管栄養の医療的ケアが必要な方が、ご家族とお二人で暮らしています。お住まいの地域はハザードマップで洪水浸水想定区域になっており、避難する時に福祉避難所や短期入所での受け入れを想定しています。医療機器や療養必需品などの持ち物、移動方法、停電時の電源確保も考え、準備しておかなければなりません。また、この方はご家族だけでの避難は難しいので、避難方法や持ち物について、往診や訪問看護ステーション、ヘルパー事業所、介護タクシーなどの関係機関との情報共有も密に必要となります。災害時個別計画のような、誰が見ても分かりやすいマニュアルの作成し、共有できればと考えています。

いざという時に備えて、今後避難方法を随時確認、検討していきたいと思えます。

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)

【ホームケア仙台ありのまま舎  
リビングセンター】

法人の拡大感染防止委員会にて希望するスタッフは週1回の抗原検査の実施を行っており、自立ホームでも実施しています。入居者7名でケアスタッフは3名の配置で規模は小さいですが、ひとりでもスタッフが陽性または濃厚接触者が出た場合は一定の自宅待機期間があり通常の業務が難しくなります。また入居者の方への濃厚接触が疑われた場合は、特定のスタッフがその入居者に関わるためさらに状況は厳しくなることを想定します。

7月から宮城県でも陽性者が急増し、無症状者が増えていきます。スタッフは抗原検査を実施していますが、検査については100%ではないと言われており、また2日程度の潜伏期間があるためその時の検査では陰性でもその後陽性になる可能性もあります。クラスターが発生しないように今は抗原検査を実施して早期発見を行ってくことが私たちができる最善の方法ですが、完全ではありません。コロナが発生する前からありのまま舎ではうがい、手洗い、手指消毒、マスク着用が習慣化しており、それがスタッフの日頃の感染症対策の意識につながっていることが大きいと実感しています。

(石黒ゆに)

(佐藤環)

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎  
(事務局)】

6月の蒸し暑い梅雨のさなか、事件は突然に起きたのでした。事務所のエアコンが遂に故障してしまつたのです。

平成6年に建設された施設は、ここ数年は各所が傷み、自分達で応急処置に努めています。設備等の修繕が多くなっています。

さて、その日からは、換気を兼ねて窓を開けると、複合機は用紙が湿気を含み、紙詰まりエラー。複合機は熱がこもり、いつになくうねりをあげます。窓を閉め、扇風機を3台駆使し、最大風量にすると、書類が舞う。コロナ禍で屋内では夏でもマスクが欠かせないため、さらに暑い夏が始まりました。

8月初旬、やつとエアコン工事が始まつた時は、その騒音さえも心強く、空調の効いた環境で働けることを改めて感謝しました。

一方で、世界情勢による燃料費の高騰で、施設の電気料金は昨年比の約1.2倍となっています。これを機会に、更に節電を意識し、設備・備品などを丁寧に扱うよう他のセクションも含めて努めていきたいと思えます。

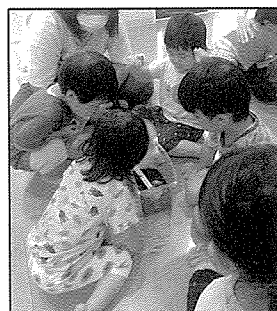
(鈴木美代子)

【チャイルドケア  
仙台ありのまま舎保育園】

暑さは落ち着き、大量のセミの合唱も聞こえなくなり、次はコオロギや鈴虫の声が聞こえるようになりました。捕まえて観察したいところですが、草むらからなかなか出てきてくれません。バツヤやコオロギ等、昔ほど簡単には捕まえることができません。シンプルに感じます。その反面、セミがとも増えたなと感じました。気候変動のためでしょうか。これから子どもたちはどのような自然や気候の変化を感じていくのでしょうか。

子どもたちが成長した頃も豊かな自然と良い思い出が残っていることを願います。今年も沢山虫捕りをし、セミの幼虫から羽化する貴重な瞬間を観察することができました。羽化が終

るまでに二時間ほどかかりました。途中で飽きてしまう子もいましたが、顔をくっつけ合いながら小さなごの中を興味津々にのぞいていました。大人にとっては貴重な経験でしたが、子どもたちにはそうではなかったかもしれません。それでも、四季折々の自然にふれ、不思議な経験を一緒に楽しむことで、人間を含む生き物にとつて大切な自然というものを伝えていけたらと思います。(春日麻里)



興味いっぱいの子もたち

【ご寄付に感謝】



株式会社第一広告社 加藤廉様(右)

仙台市太白区にある長町住宅展示場「緑と風のガーデン」(株式会社第一広告社)様よりご寄付(38,400円)を頂戴しました。自立ホームの近くにあり、2012年にオープンされた住宅展示場で、2023年春リニューアルオープンに向けて一度閉鎖をされるためバザールを開催し、その売り上げを当舎にお寄せ下さいました。ありがとうございました。

名取エリア

【サポーターケア名取ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

インタビュースリーズ第5回は、精神保健福祉士の実習生さんにお聞きしました。

実習生の星さんは、8月中旬から当事業所での精神保健ソーシャルワーク臨床実習にきています。私たちと一緒に現場の業務を実際に体験しながら十七日間の実習を行います。

一、楽しみにしていること

「卒業旅行」で、大学の友人と大阪、京都に行かれるそうです。また、自宅で飼っているねこと遊ぶことが毎日の癒しになっているとのこと。

二、頑張っていること

「貯金！」だそうです。卒業旅行や一人暮らしのために頑張っているそうですが、なかなかうまく進んでいないとのことでした。

三、目標など

「精神保健福祉士の資格取得」とのことでした。その他にも目標はたくさんあるようです。頑張っていて資格を取得して欲しいと思います。これからの障害者福祉を支える人を育てることも、我々の大事な役割だと思います。そのため自身の業務を振り返りながら、後進の育成に努めたいと思います。(佐々木晃)

県南エリア

【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎 (アクトイヴィテイケア)】

現在、アクトイヴィテイは、

リハビリスタッフ1名・ACCTスタッフ2名常勤1名・非常勤1名の計3名体制となっております。入居者・通所利用者の方々は、日々機能維持・向上を図るべくリハビリに取り組みながら、同時にACCT活動にも精力的に参加されています。

先日は、夏のイベントとして

花火大会動画鑑賞会を開催しました。ホール内の照明を落とし、大スクリーンに映し出された無数の大輪の花火に、参加された方々から歓声が聞かれ、拍手する様子等も見られました。また、ホール後部に設置したスピーカーから鳴り響く重低音には、さながら夏祭りの会場に居るのでは、と錯覚してしまうほどの臨場感を得られました。季節ごとの取り組みは他にもあります。

7月には、七夕に因み星空の

制作を行いました。黒い画用紙の上で茶こしと絵具を浸したブラシをこすり合わせ、飛散した模様で夏の夜空を表現するというものです。2つとして同じ作品は無く、参加者それぞれの力加減で、とても個性あふれる作品が出来上がりました。

このようにこれからも、入居者・通所利用者の方の心身活性・

モチベーション維持を図るべく、今後もスタッフ一同研鑽に励む所存であります。(鈴木圭)

◆

【サポーターケア亘理ありのまま舎 基幹相談支援センター】

7月29日(金)に亘理町内の情報を発信している、エフエムあおぞらさんに出演させて頂きました。現在基幹で行っている、7つの事業についてお話しさせて頂きました。私自身ラジオに出演する経験は初めてだったので、非常に緊張したこと、内容的には堅くなりやすいものでしたが、パーソナリティの西垣さんより、ふたりで会話のキャッチボールをするように進行して頂いたことで、幾分かやわらかく伝えられたかと思えます。

亘理町民の皆様にも少しも基幹で行っている事業についてご理解を頂き、「こんなことをしていたんだ!」気になることがあるから相談してみようかな?」と感じてもらえたら、という思いでお話しさせて頂きました。

私なりに精一杯頑張りましたが、うまく伝わったのかはわかりません。説明がわかりづらいことも多々あったと思います。

この反省を活かして、今後様々な媒体を通して情報発信し、皆さんにとって身近で、「困った時に気軽に相談しやすい人」となるように努めていきたいです。(相澤誠二)

【サポーターケア県南ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

県南ありのまま舎は亘理町・岩沼市の委託相談支援事業所となっております。今回は岩沼市委託相談支援事業所で参加している岩沼市障害児者地域自立支援協議会で取り組んでいることを紹介したいと思います。

岩沼市障害児者地域自立支援協議会には全体会、生活支援部会、子ども支援部会、各部会の運営会で構成されています。

生活支援部会では、委託相談支援事業所として日々の支援で感じた、地域課題を解決するためにはどうしたら良いかの話し合いを経て活動として動いています。

活動のひとつに高齢部門と障害部門の相互理解を目的とした交流会があります。前年度は、コロナ禍ということもありオンラインZOOMで行いました。参加者からの声で、「顔と顔を合わせられなくて残念。」「来年度は是非直接のやり取りがしたい。」等ありました。今年度は、研修会か事例検討会か何をするのか検討している所です。

今後高齢化が進んでいるので、高齢部門との連携は必須になっていきます。更にネットワークを強固なものにできるように精進していきたいと思えます。(清野麻紀)

当クリニックは、難病ホスピス太白ありのまま舎・自立ホーム仙台ありのまま舎の入居者の健康をサポートします。

茂庭台  
ないとうクリニック  
院長 二井谷 友公

(診療科目) ●内科 ●小児科

電話 (022) 281-5490

診療時間

- ◆月～木曜日
  - 午前 9:00～12:00
  - 午後 3:00～5:00
- ◆金曜日
  - 午前 9:00～12:00
  - 午後 3:00～4:45
- ◆土曜日
  - 午前 9:00～12:00
- ◆休診日 日曜日・祝日

施設前駐車場 第2駐車場

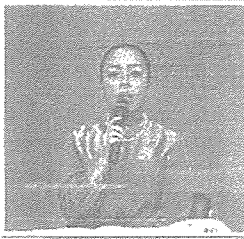
茂庭台入口

ないとうクリニック 複合サービスセンター

※ 診療時間についてはお問い合わせ下さい

# スクラップ 【自立大賞記者発表】

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)



「当事者こそわかる」  
寛仁親王殿下が総裁を務められた社会福祉法人「ありのまま会」(仙台市太白区)は15日、自立して活動する障害者や自立支援者を顕彰する「第22回ありのまま自立大賞」の選考結果を宮城県庁で発表し、寛仁さまの次女、瑞子さまが選考委員長として出席された。

授賞式は23日、仙台市太白区にある「ありのまま会」(仙台市太白区)は15日、自立して活動する障害者や自立支援者を顕彰する「第22回ありのまま自立大賞」の選考結果を宮城県庁で発表し、寛仁さまの次女、瑞子さまが選考委員長として出席された。

授賞式は23日、仙台市太白区にある「ありのまま会」(仙台市太白区)は15日、自立して活動する障害者や自立支援者を顕彰する「第22回ありのまま自立大賞」の選考結果を宮城県庁で発表し、寛仁さまの次女、瑞子さまが選考委員長として出席された。

産経新聞宮城版 7月16日(土) ※Yahoo ニュースにも掲載されました!



障害者福祉事業を展開する社会福祉法人「ありのまま会」(仙台市太白区)は15日、障害者の自立支援などに貢献した個人や団体を表彰する「ありのまま自立大賞」の授賞式を発表した。新型コロナウイルスによる中断を経て3年ぶりに実施。自立大賞には、生まれつき難聴の障害を持つ長崎市の医師、吉田翔さん(38)が選ばれた。「医学知識を習得して自分と同じ境遇の人を支えたい」と医師を志し、佐賀大医学部に入學。現在は長崎市内の病院で耳鼻咽喉科専門医の資格取得

を目標としている。ありのまま会の総裁を三笠善寛(さん)さまが務められたことから、次女の瑞子さまが2016年から自立大賞の選考委員長を務められて

読売新聞地域版 7月16日(土)

【その他】  
河北新報  
7月16日(土)  
ワイド東北

## 【授賞式】

難聴の医師を表彰  
—— 仙台

社会福祉法人ありのまま会(仙台市太白区)が自立して活動する障害者や支援者に贈る「第22回ありのまま自立大賞」の授賞式が、仙台市太白区にある「ありのまま会」(仙台市太白区)の会場で、大賞の長崎市の医師吉田翔さん(38)にあじの末っ子、寛仁親王殿下が表彰状を贈った。写真。

先天性難聴の吉田さんは難聴の人の役に立ちたいと

医師を志し、7年前に実現。耳鼻咽喉科の専門医を目指す。授賞式は7月23日(日)に宮城県仙台市太白区にある「ありのまま会」(仙台市太白区)の会場で、大賞の長崎市の医師吉田翔さん(38)にあじの末っ子、寛仁親王殿下が表彰状を贈った。写真。

授賞式は7月23日(日)に宮城県仙台市太白区にある「ありのまま会」(仙台市太白区)の会場で、大賞の長崎市の医師吉田翔さん(38)にあじの末っ子、寛仁親王殿下が表彰状を贈った。写真。

河北新報 トピックス 8月7日(日)

故寛仁親王の次女瑞子さま  
まは23日、仙台市の福祉プラザを訪れ、自立して活動する障害者や支援者を表彰する第22回ありのまま自立大賞の授賞式に出席された。

自立大賞は、先天性難聴があり、耳鼻咽喉科の専門医を目指す長崎市の医師吉田翔さん(38)に贈られた。自身も感音性難聴がある瑞子さまは、選考委員長としてあいさつし「多くの方々に(難聴の)状況を知っていただく、悩んだりするところなく、ここに行ったら理由が分かるんだと思える場ができればいいな」と思っています」と述べた。

仙台で授賞式

田翔さん(38)に贈られた。自身も感音性難聴がある瑞子さまは、選考委員長としてあいさつし「多くの方々に(難聴の)状況を知っていただく、悩んだりするところなく、ここに行ったら理由が分かるんだと思える場ができればいいな」と思っています」と述べた。

長崎新聞 7月24日(日)掲載

その他 産経新聞 7月23日(土) Yahoo ニュース掲載・佐賀新聞 7月24日(日)掲載

「支援頂きありがとうございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】  
22 7/25〜8/24

(鈴木一彦)

【バザー提供】  
22 7/28〜8/24

(川尻誠)

「ボトルカンパありがとうございました(敬称略)」

22 7/25〜8/24  
ウジエスパー仙台西多賀店  
(太白区)

9,415円  
昨年リニューアルされ、さら

に利用しやすいお店になりました。自立ホームの近所であり、入居者・スタッフともども日頃より大変お世話になっております。

フレッシュフードモリヤ落合店  
(青葉区) 14,838円

この度も硬貨で一杯のボトルをお寄せ頂き、皆様よりの温かなお気持ちを感じ、活動への励みとなりました。いつもお支え頂き心より感謝申し上げます。

(鈴木一彦)

ありがとうございました。

【バザー開催日のご案内】

《10月》

- 4日(火) ヨークベニマル山田鉤取店 (太白区)
- 6日(木) ヨークマルシェ大和町店 (若林区)
- 11日(火) ヨークベニマル南呂成店 (青葉区)
- 13日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば (宮城野区)
- 18日(火) ヤマザワ茂庭店 (太白区)
- 25日(火) 袋原(向日葵ライフ) サポートセンター・太白区
- 27日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば (宮城野区)
- 29日(土) ありのままショップセル (太白区・自立ホーム)

ありのまま会後援会(敬称略)

22 7/26〜8/23  
【個人会費】  
○令和4年度

以上三〇

【賛助会費】  
○令和3年度

○令和4年度

全国から沢山のご支援ありがとうございました。

(事務局 佐藤環)

【自販機販売設置支援】

◆サントリーブバレッジ

7月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,869円

ありのまま会(自立ホーム・太白ありのまま会・サポートケア県南・亘理ありのまま会)

16,752円

【法人会費】

○令和4年度



「協力ありがとうございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・個人の皆様に感染症対策を取りながらお手伝いいただきました。◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台北三番丁教会、仙台宮城野教会の皆様にてお手伝いいただきました。◆バザー会では、販売や片付けなど暑い中にも拘わらずお手伝いいただいております。ショップセルの会場でも準備や片付け等お手伝いいただきました。

【太白ありのまま会】

◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会(書道) ◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」 ◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」など施設内で行う活動は、感染予防対策を継続しているために、まだ再開できていません。

毎月、感染状況をみながら対応を検討し、入居者・利用者の皆様にもご協力いただきながら予防第一で過ごしております。一日も早く皆様と一緒に活動したいと思いますが、今はじっと我慢し、その日を楽しみまして過ごしたいと思っております。

(中村悦子)